

(2) 総合評価シート

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和6年度）

施設名	吹田市立千里山竹園児童センター	所管部室課名	児童部子育て政策室
所在地	吹田市千里山竹園2丁目1番5号	設置年月日	平成21年10月

1 施設の概要

(1)設置目的	次代を担う子どもたちが、「遊び」を通じて創造性や社会性、協調性を身につけ豊かな人間関係を育むことを目的とする。		
(2)規模、開館日等	<b>【規模】</b> (構造) 鉄筋コンクリート造2階建 (敷地面積) 969.07㎡ (建築面積) 343.12㎡ (床面積) 1階 319.32㎡ 2階 206.20㎡	<b>【開館日等】</b> (開館日) 毎日開館(5/3~5/5及び年末年始を除く) (開館時間) 4~9月 10時~18時 10~3月 9時30分~17時30分	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会					
(2)指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日（5年間）					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	1 子どもの健全育成及び地域の子育て家庭への支援に関する業務 2 施設の管理運営に関する業務 3 施設の維持管理に関する業務 4 経営管理に関する業務 5 その他					
(5)指定管理者の収支		令和5年度		令和6年度		
		計画	実施結果	計画	実施結果	
	収入	指定管理料又は利用料金 (円)	25,900,000	25,900,000	25,940,000	25,940,000
		自主事業 (円)	0	0	0	0
		その他 (円)	363,000	0	0	0
	支出	管理経費 (円)	26,263,000	23,547,432	25,940,000	25,523,875
		自主事業 (円)	0	0	0	0
その他 (円)		0	0	0	0	
収支差額 (円)	0	2,352,568	0	416,125		

3 成果指標（活動指標）

成果指標（活動指標）		令和5年度		令和6年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	メイン行事参加者数	1,500	1,814	1,500	1,690
2	センターまつり参加者数	320	420	320	546
3	幼児教室参加者数	750	864	750	793
4	月間・週間行事参加者数	3,500	4,400	3,500	4,656
5	年間来館者数	22,000	24,145	22,000	29,107
6					
7					
8					

#### 4 利用者ニーズの把握状況

(1)把握方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施（実施期間：令和6年9月30日～令和6年10月19日/回答者数：児童向け95名/大人向け80名）</li> <li>・常設の意見箱、こども会議の実施による意見の把握</li> </ul>
(2)把握結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の接遇については、肯定的な回答がほとんどであった</li> <li>・幼児教室やイベント等、利用者満足度はかなり高いものであった</li> <li>・図書に関しての多数の要望があった</li> </ul>
(3)結果を受けての対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達の意見・要望については、具体的に何を望んでいるのか「こども会議」や日頃の活動の中で、更にきめ細やかなヒアリングを行っていく。</li> <li>・図書に関する要望を参考に、新規図書の購入を行う。</li> </ul>

#### 5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 管理運営の方針については、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。</li> <li>2 平等利用の確保については、利用者の公平性が確保されていた。</li> <li>3 個人情報の保護については、制定している「個人情報取扱規程」及び「特定個人情報等取扱規程」や吹田市個人情報保護条例を遵守することにより個人情報の保護の徹底に努めていた。</li> </ol>
(2)施設の効用の発揮	<p>利用者のニーズに合致した行事イベントや自主事業の実施に努めており、新型コロナウイルスによる利用制限が緩和されたことも伴い、利用者は増加傾向にある。また、サービス向上のために地域住民等の協力を得ながら運営をしていることが、高い利用者満足度に繋がっていた。</p>
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	<p>館長、主任児童厚生員、児童厚生員を配置し、安定した管理運営体制を構築しており、事務処理を適切に行うための事務員を配置していることが、適正な経理事務に繋がっている。また、各役職における職責として、適切な役割分担がされていた。運営委員や多くの地域のボランティアの協力を得ることで、限られた資源を最大限に活用し、児童センターの運営に積極的に取り組んでいる。</p>
(4)施設の管理経費の縮減	<p>こまめな消灯や空調温度の調整による光熱費の削減に取り組んでいる。また、ペーパーレス化による消耗品費の削減の努力もなされている。</p>
(5)地域人材の活用	<p>管理運営協議会役員をはじめとする地域人材が、行事運営のボランティアとして参画されている。多様な人材の協力により、より充実した内容の行事となっている。</p>
(6)総合評価	<p>管理運営体制、管理運営内容共に基本協定書や募集要項、事業計画書等に基づいて実施していることを確認し、改善を要する指摘事項は無い。また、地域の協力を得ながら多種多様な行事イベント等を実施していることやこども会議、利用者へのアンケートを実施して、利用者の意見を丁寧に聞いて運営していることも高い利用者満足度に繋がっている。施設の管理運営に係る経営状況が健全であると確認できたことから、今後において、安定した管理運営が可能であると判断する。</p>